

日本テレビ『こどもウイーク』、第13回 環境省グッドライフアワード 「実行委員会特別賞 子どもエンパワーメント賞」を受賞！



日本テレビホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員 福田博之)は、サステナビリティポリシー重要課題の1つ「未来を豊かにする情報発信」を推進するため、2023年から 報道局主幹のキャンペーン『こどもウイーク』を通じ、こどもの声や視点を 番組やイベントなどと連携し発信してきました。



未来を豊かにする情報発信

3回目となる2025年は、NNN 戦後80年プロジェクトとも連携し「戦争をおこさないために いまできること」をテーマにキャンペーン展開を実施。自分たちにできるアクションを考えてもらう「折り鶴アクション」では Yahoo!きっずなど社外とも力をあわせ 全国から約1,600件の声を集め発信。また、8月開催、小学生を対象にした学びのイベント『汐留サマースクール2025』では、アナウンサーによる平和を考える読み聞かせも行いました。



環境省が 環境に優しい社会の実現を目指し、日本各地で実践されている「環境と社会により暮らし」に関わる活動や取り組みを表彰する『第13回グッドライフアワード』に 報道局が応募したところ、「子どもエンパワーメント賞」の受賞が決まり、12月6日(土)に 東京・渋谷スクランブルホールで表彰式が行われました。

※日本テレビの取り組みとしては、グッドライフアワードの受賞は3年ぶり5回目。同賞の受賞は初めて

※「子どもエンパワーメント賞」とは、「子どもは未来のオトナたち！ハッピーな地球の未来、エコな社会をめざす 子どもたちをエンパワーメントする取組」を表彰する、実行委員会特別賞のひとつ

《お問い合わせ先》日本テレビホールディングス株式会社 総務・人事管理局 サステナビリティ事務局 TEL:0570-040-040(代表)

【コメント】 こどもウイーク発起人 右松 健太(報道局 深層 NEWS キャスター)

「こどもウイーク」の理念は、ロゴマークに込められています。

「この指とまれ」と、空に向かって伸びる人差し指の形をした木の幹に、多くの人が集まってくるデザインです。こどもも大人も、一緒に社会づくりをする仲間として集まれば、その木は次第に大きく育っていく——そんな思いが込められています。今回の受賞を力に変えて、より多くの方に「JOIN！」していただけるよう、放送やデジタル、イベントなど、あらゆる場面で発信の幅を広げてまいります。



【コメント】 こどもウイーク演出 深津 茉莉(報道局 news every. デスク)

どんなこどもも安心して希望を持てる社会、世界であってほしい。

街中で、ニュースでこどもたちの姿を見るたびにそう思います。

3年目となった「こどもウイーク」、回を重ねる毎に、こどもたちの言葉に向き合い、

共に考えることの大切さがより多角的に見えてくるようになりました。

今後も日本テレビ内にとどまらないアプローチで「いっしょにつくるミライ」の実現に向けて邁進します。

【コメント】 こどもウイーク プロデューサー 小江 翼(報道局 総合戦略担当 部次長)

「こども day」から始まった活動も、放送やイベントの充実と共に、着実に輪が広がる3年目を迎えました。

報道局主幹ですが、大切にしているのは社内外との「対話」です。そこには、普段見落としがちな視点や発見があります。中期経営計画にある「共創」の精神で、子育て世代に限らず老若男女が「未来」を想い、世界をより良くするきっかけを、皆様と一緒に作っていければ嬉しいです。

以上